

(2) 歳出（別表 5， 9 参照）

イ. 概要

平成 29 年度一般会計の歳出決算額は 196 億 8,923 万 2 千円で、予算現額 206 億 9,389 万 8 千円に対し、95.1%の執行率である。

翌年度繰越額は 3 億 1,763 万 5 千円で、そのすべてが繰越明許費繰越額となっている。したがって、予算執行残額から翌年度繰越額を差し引いた不用額が 6 億 8,703 万 1 千円となっている。

決算額のうち前年度に比べて増加した主なものは、民生費 2 億 2,329 万 9 千円（3.4%）、教育費 1 億 6,841 万 8 千円（10.3%）、土木費 7,456 万円（5.0%）であり、減少した主なものは、総務費 5 億 9,980 万 1 千円（21.1%）、衛生費 4 億 1,093 万 2 千円（15.1%）である。

概ね予算に即した執行がされていたことを認めた。決算額を性質別に区分すると次のとおりである。

性 質 別 決 算 額 比 較 表

区 分 性 質 別		平成 29 年 度		平成 28 年 度		対前年度 増減額
		決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	
消 費 的 経 費	人 件 費	千円 2,629,951	% 13.4	千円 2,621,810	% 12.9	千円 8,141
	物 件 費	2,535,485	12.9	2,483,769	12.2	51,716
	維持補修費	221,846	1.1	247,275	1.2	△ 25,429
	扶 助 費	3,677,272	18.6	3,576,284	17.6	100,988
	補助費等	4,933,139	25.1	5,180,061	25.5	△ 246,922
	小 計	13,997,693	71.1	14,109,199	69.4	△ 111,506
投 資 的 経 費	普通建設事業費	1,846,688	9.4	2,379,632	11.7	△ 532,944
	災害復旧事業費	7,665	0.0	2,179	0.0	5,486
	小 計	1,854,353	9.4	2,381,811	11.7	△ 527,458
公 債 費		1,632,280	8.3	1,660,033	8.2	△ 27,753
積 立 金		664,791	3.4	616,599	3.1	48,192
貸 付 金		304,000	1.5	302,000	1.5	2,000
繰 出 金		1,236,115	6.3	1,240,106	6.1	△ 3,991
合 計		19,689,232	100.0	20,309,748	100.0	△ 620,516

消費的経費は後年度に形を残さない性質の経費である。投資的経費はその支出の効果が資本形成に向けられるもので、施設等ストックとして将来に残るものに対して支出される経費である。

歳出科目は 14 款に区分されており、その構成及び予算の執行状況は次のとおりである。

ロ．議会費

議 会 費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
161,663,000	160,049,231	0	1,613,769	99.0	0.8

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額１億５，７７１万６千円に比較すると２３３万３千円（１．５％）の増加である。

ハ．総務費

総 務 費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
2,350,930,000	2,242,362,007	35,700,000	72,867,993	95.4	11.4

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額２８億４，２１６万３千円に比較すると５億９，９８０万１千円（２１．１％）の減少である。

これは主に、一般管理費が１億２０万１千円（８．７％）、諸費が２，５８２万５千円（４８．７％）、財産管理費が２，１２８万８千円（２０．４％）、衆議院議員選挙費が１，７５９万円（皆増）、知事選挙費が１，７０６万３千円（皆増）、それぞれ増加したものの、市民会館管理費が５億８，５０７万３千円（９１．４％）、企画費が９，７１５万４千円（３５．３％）、電算処理費が３，９２０万円４千円（２８．６％）、賦課徴収費が２，８９９万９千円（３２．６％）、参議院議員選挙費が２，０７０万円（皆減）、それぞれ減少したためである。

また、不用額７，２８６万８千円は主に、企画費でコミュニティバス負担金が運賃収入や事業者へ支払われる国庫補助金、前年度過払い金等の精算の減額による負担金、補助及び交付金６６３万８千円、一般管理費でふるさと納税特産品費の予測が困難等のための報償費４３０万６千円、企画費で賃貸共同住宅等建設事業補助金、宅地供給促進補助金、北条高校活性化事業補助金、北条高校活性化協議会等の予算額を決算額が下回り、補助金額等が減額となったための負担金、補助及び交付金２９１万９千円、一般管理費でふるさと納税包括業務委託料の予測が困難等のための委託料２３４万４千円、税務総務費で嘱託職員の減による賃金１７４万９千円が不用になったものである。

なお、翌年度繰越額３，５７０万円は、自治組織費の繰越によるものである。

コミュニティバスの路線の中には、利用者も極めて少なく、また公的な目的のために運行しなければならない必要性も少ないと考えられるものもあるので、今後、見直しを検討されたい。

また、若者応援事業、多文化共生の推進、新規事業出逢いサポートセンター等は、地域活性化を図るうえで有用であろうと考えられるものの、今後の事業の継続を意図されるならば、費用対効果の観点から、事業の評価を慎重かつ厳格に行い、継続または改廃の是非を検討されたい。

なお、交流の場や、特産物販売等に利用されることを目的に、北条旧市街地の空き家・空き店舗を多額の資金を要して改修しているが、今後も、十分に成果が上がるよう配慮されたい。

二. 民生費

民 生 費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
7,162,741,000	6,845,754,081	0	316,986,919	95.6	34.8

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額 6 6 億 2, 2 4 5 万 5 千円に比較すると 2 億 2, 3 2 9 万 9 千円 (3. 4%) の増加である。

これは主に、児童福祉総務費が 7, 8 2 1 万 6 千円 (51. 0%)、社会福祉総務費が 3, 8 5 2 万円 (2. 4%)、学童保育費が 1, 0 0 0 万 4 千円 (12. 4%)、それぞれ減少したものの、児童福祉施設費が 1 億 5, 0 9 3 万 3 千円 (16. 8%)、障害者福祉費が 9, 3 1 7 万 8 千円 (9. 4%)、老人福祉費が 3, 4 0 1 万 1 千円 (43. 2%)、それぞれ増加したためである。

また、不用額 3 億 1, 6 9 8 万 7 千円は主に、社会福祉総務費で国民健康保険給付費及び後期高齢者医療給付費の減により特別会計への繰出金が減になったこと等による繰出金 1 億 2, 0 4 1 万 3 千円、児童福祉施設費で入札差金による工事請負費 4, 2 2 0 万 5 千円、障害者福祉費で利用者が見込みを下回ったことによる扶助費 3, 5 7 6 万 8 千円、福祉医療費で医療費助成の減等による扶助費 3, 0 3 9 万 7 千円、生活保護費の扶助費で入院等に係る医療扶助受給者が見込みを下回った等による扶助費 2, 3 0 4 万 6 千円が不用になったものである。

子育て支援として引き続き 4・5 歳児の保育料を無料化し、保護者負担の軽減に取り組んでいる。また、幼保一体化の推進では、九会幼児園と別府幼児園を統合して平成 2 9 年 4 月に加西こども園を新設し、市内 3 番目となる北条ならの実こども園の整備も完了した。さらに（仮称）泉こども園整備は、各小学校区で説明会を開催し、待機児童の解消と保育と教育の一体的な提供や人的整備の充実を議論し、計画の推進を決定した。また、地権者や関係機関と交渉し、建設用地を確保した。今後もこども園の整備に当たっては、市の方針を保護者・地域住民等に丁寧に説明し、理解を得る努力を重ねて、事業の推進に努められたい。

ホ. 衛生費

衛 生 費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
2,425,622,000	2,311,707,873	0	113,914,127	95.3	11.7

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額 2 7 億 2, 2 6 4 万円に比較すると 4 億 1, 0 9 3 万 2 千円 (15. 1%) の減少である。

これは主に、塵芥処理費が4,928万1千円（12.4%）増加したものの、平成28年度に衛生センター改修整備工事が完了したこと等によりし尿処理費が2億8,381万4千円（63.5%）、生活排水対策費が1億5,863万5千円（68.4%）、それぞれ減少したためである。

また、不用額1億1,391万4千円は主に、保健衛生総務費で病院事業にかかる追加経営支援を決算額で調整し減額したことによる負担金、補助及び交付金5,500万円、保健衛生総務費で水道事業にかかる補助対象事業費を減額したことによる投資及び出資金2,350万円、健康推進対策費で医療機関検診受診者数が見込みを下回ったことによる委託料509万円、予防費で予防接種件数が見込みを下回ったための委託料506万8千円が不用になったものである。

へ. 労働費

労 働 費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
156,925,000	154,642,568	0	2,282,432	98.5	0.8

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額1億6,123万9千円に比較すると659万7千円（4.1%）減少している。これは、労働諸費が減少したためである。

若者定住促進事業として、「新婚世帯向け家賃補助金制度」、「若者世帯定住促進住宅補助金制度」等を実施しているが、このような補助制度については、その費用と効果の観点からも、制度の有効性を総合的に評価し、継続や改廃の判断材料とすべきである。

ト. 農林水産業費

農 林 水 産 業 費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
1,164,157,000	1,118,939,057	24,628,000	20,589,943	96.1	5.7

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額11億253万7千円に比較すると1,640万2千円（1.5%）の増加である。

これは主に、農業振興費が3,607万3千円（25.1%）、地籍調査事業費が1,156万円（29.6%）、それぞれ減少したものの、農地費が4,314万8千円（12.0%）、畜産業費が3,217万7千円（1,556.3%）、農業総務費が152万6千円（1.0%）、それぞれ増加したためである。

また、不用額2,059万円は主に、地域農政推進対策事業費で新規就農支援事業補助金の精査で減になった負担金、補助及び交付金345万1千円、畜産業費で設計精査及び入札執行で減になった委託料308万5千円、農業振興費でシカ緊急捕獲拡大事業負担金、及び環境保全型農業直接支払支援対策交付金による精査で減になった負担金、補助及び交付金306万4千円が不用になった

たものである。

チ．商工費

商 工 費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
429,327,000	425,716,622	0	3,610,378	99.2	2.2

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額５億５，１１７万９千円に比較すると１億２，５４６万４千円（２２．８％）の減少である。

これは主に、商工振興費が１億３，２５６万４千円（２８．８％）減少したためである。

また、播磨国風土記関連事業は、市の文化的水準の向上や活性化を図るうえで有用であるものの、過去数年にわたり、多額の資金を投入している。本年度より観光まちづくり協会事業に継承されたが、今後も継続して類似の事業を実施しようと目論んでいるならば、費用対効果、市民全体に対する有効性の観点等を十分に吟味したうえで、事業の評価を慎重かつ厳格に行い、市としての必要性を見極めていただきたい。

リ．土木費

土 木 費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
1,873,305,000	1,566,036,012	235,260,000	72,008,988	83.6	8.0

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額１４億９，１４７万６千円に比較すると７，４５６万円（５．０％）の増加である。

これは主に、道路維持費が６，１７２万６千円（２５．８％）、都市下水費が４，３１７万４千円（６．９％）、宅地造成対策費が１，６４４万１千円（皆減）、土地区画整理費が９０３万５千円（８．９％）、市営駐車場管理費が３６４万７千円（皆減）、それぞれ減少したものの、鵜野飛行場の事業推進による道路新設改良費が６，３２７万７千円（８３．７％）、鵜野飛行場跡地周辺整備による都市再生事業費が５，８４６万２千円（７８．３％）、街路事業費が３，５５３万７千円（皆増）、公園費が１，６４７万７千円（６８．８％）、都市計画総務費が１，４２４万７千円（１４．５％）、それぞれ増加したためである。

また、不用額７，２００万９千円は主に、都市下水費で下水道事業にかかる補助対象事業費の減による負担金、補助及び交付金２，８４９万６千円、道路新設改良費で社会資本整備総合交付金事業（豊倉日吉線）委託費の精算による公有財産購入費１３５万５千円が不用になったものである。

なお、翌年度繰越額２億３，５２６万円は、道路新設改良費、都市計画総務費、都市再生事業費の繰越である。

ヌ. 消防費

消 防 費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
769,242,000	760,513,903	7,000,000	1,728,097	98.9	3.9

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額 7 億 4, 9 1 7 万 5 千円に比較すると 1, 1 3 3 万 9 千円 (1. 5 %) の増加である。

これは主に、消防施設費が 7 1 万 8 千円 (6. 7 %) 減少したものの、常備消防費が 1, 2 2 1 万 9 千円 (1. 9 %) 増加したためである。

なお、消防団員報酬は、本来、消防団の各構成員に対する報酬であるが、支払先、支払方法が必ずしも本来の趣旨に合致するとは言い難い状態であるため、対応方法を検討されたい。

ル. 教育費

教 育 費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
1,863,578,000	1,798,775,205	11,800,000	53,002,795	96.5	9.1

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額 1 6 億 3, 0 3 5 万 7 千円に比較すると、1 億 6, 8 4 1 万 8 千円 (10. 3 %) の増加である。

これは主に、小学校費の学校管理費 (小) が 1 億 5 8 7 万 3 千円 (40. 5 %)、教育総務費の事務局費が 9 4 1 万 1 千円 (3. 3 %)、それぞれ減少したものの、加西中学校プール改築工事による中学校費の学校管理費 (中) が 1 億 4, 3 8 6 万 8 千円 (183. 1 %)、温水プール設備改修工事による特別支援学校費の特別支援学校費が 4, 0 9 7 万 8 千円 (178. 7 %)、幼稚園費が 3, 1 8 5 万 1 千円 (15. 1 %)、社会教育費のオークタウン管理費が 1, 8 8 6 万 1 千円 (171. 9 %)、それぞれ増加したためである。

不用額 5, 3 0 0 万 3 千円は主に、計画内容変更及び工事の入札残によりオークタウン管理費の工事請負額 1, 3 9 7 万 9 千円が不用になったものである。

翌年度繰越額 1, 1 8 0 万円は、保健体育費の給食施設運営費の繰越である。

なお、平成 2 8 年度の決算審査意見書で、各学校の備品管理について、学校側の定期的な棚卸実施に加え、市担当者の実地棚卸も必要ではないかと指摘していた。改善措置として、学校訪問時に棚卸を実施しているが、棚卸結果については、市当局で保有しておらず、市の内部統制として実施していることであり、その結果を示す帳票を的確に保有しておくべきである。

ヲ．災害復旧費

災 害 復 旧 費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
11,200,000	7,665,160	3,247,000	287,840	68.4	0.0

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度の支出済額２１７万９千円に比較すると５４８万７千円（２５１．８％）増加している。

これは、農業施設災害復旧費が５４８万７千円（２５１．８％）増加したためである。

ワ．公債費

公 債 費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
1,632,556,000	1,632,279,733	0	276,267	100.0	8.3

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額１６億６，００３万３千円に比較すると２，７７５万３千円（１．７％）の減少である。

支出済額のほとんどが市債償還元金と利子である。

一般会計の前年度末における未償還元金は１９３億６，１２５万３千円であり、これに当年度借入金額１８億８，２６０万円を加え、この合計額から当年度元金償還額１５億１５３万７千円を差し引いた額１９７億４，２３１万６千円が当年度末未償還元金である。

カ．諸支出金

諸 支 出 金

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
682,200,000	664,791,016	0	17,408,984	97.4	3.4

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額６億１，６５９万９千円に比較すると、ふるさと納税の増加等に伴い、基金への積立額が４，８１９万２千円（７．８％）増加している。

支出の主なものは、ふるさと応援基金費６億３，２７１万９千円、財政調整基金費１，２１６万４千円である。

ヨ. 予備費

予 備 費

議決予算額	充用額	不用額	充当率
円 20,000,000	円 9,548,000	円 10,452,000	% 47.7

当年度における予備費の充用件数は4件で、1,045万2千円が不用額となっている。